

令和元年度

第1回 高知市上下水道事業経営審議会

高知市水道事業 災害対策の現状

(城西公園内の耐震性非常用貯水槽について、開設デモ)

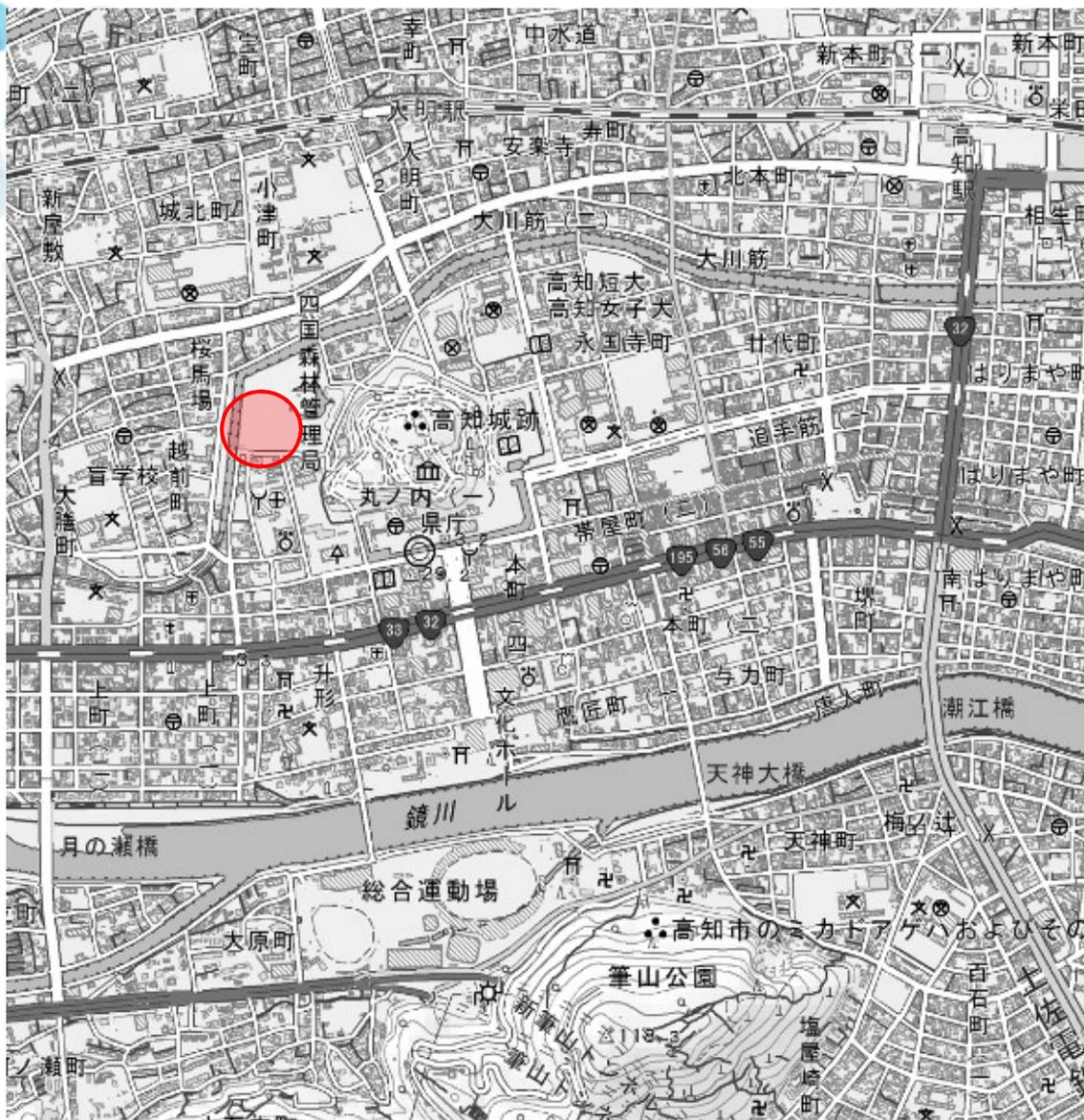


令和元年10月11日

管路管理課

城西公園耐震性非常用貯水槽

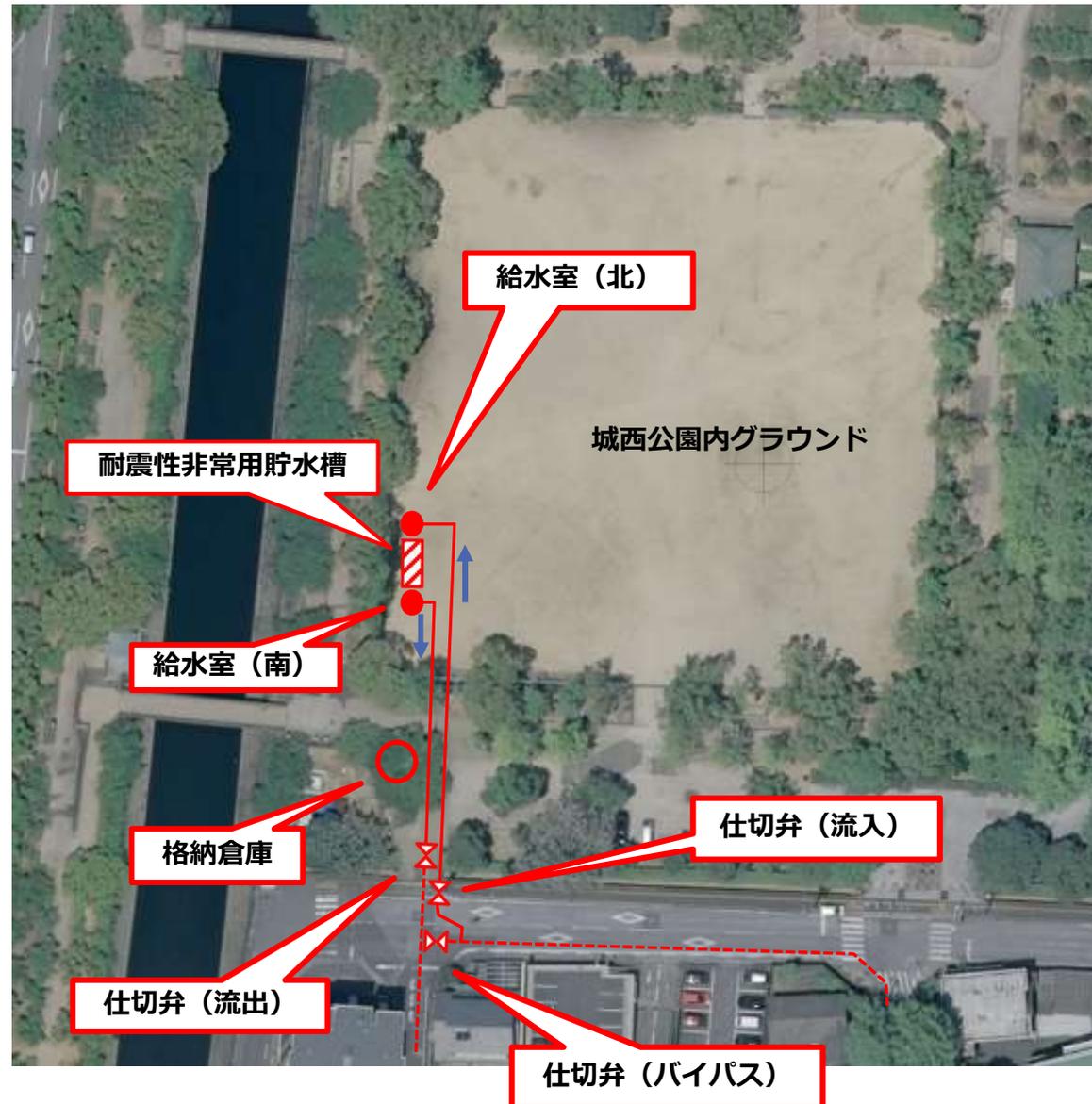
位置図



施設概要

1. 設置場所 城西公園グラウンド内
2. 設置年度 平成21年度
3. 貯水槽容量 60m³
4. 寸法 直径2.6m×12.3m
5. 材質 グラウチン鉄製

耐震性非常用貯水槽及び操作仕切弁の位置



給水用資機材

耐震性非常用貯水槽の水を汲み出すために必要となる給水用の資機材が、格納倉庫に収納されています。

格納庫内の収納状況



主な格納資機材

ガソリンエンジン発電機



給水用手動ポンプ



残留塩素計



給水ホース



折り畳み式給水スタンド



給水用電動ポンプ



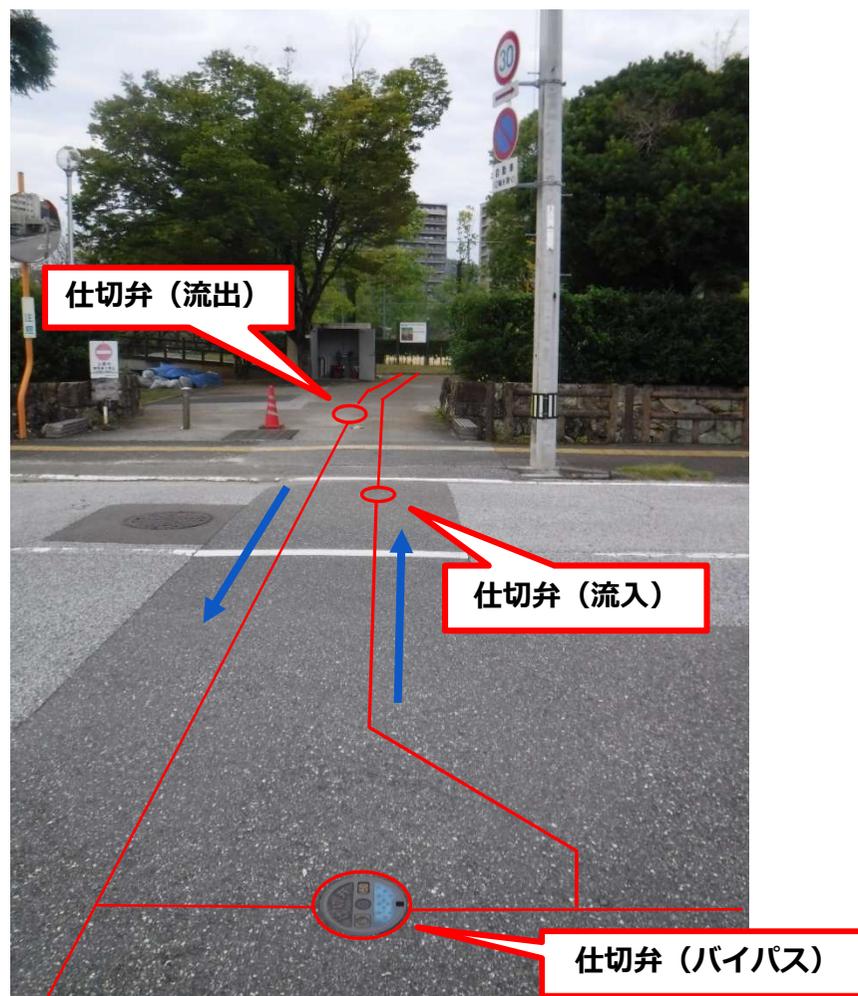
給水室マンホール及びび仕切弁開閉用十字キー



開設手順 1 仕切弁の切替え

濁り水の流入を防ぐため、流入・流出弁を閉めバイパス弁を開けます。

連絡管



開設手順 2 給水室のマンホール蓋を開ける

給水室のマンホール小蓋を開ける。

給水室



給水室の蓋を開けた状態

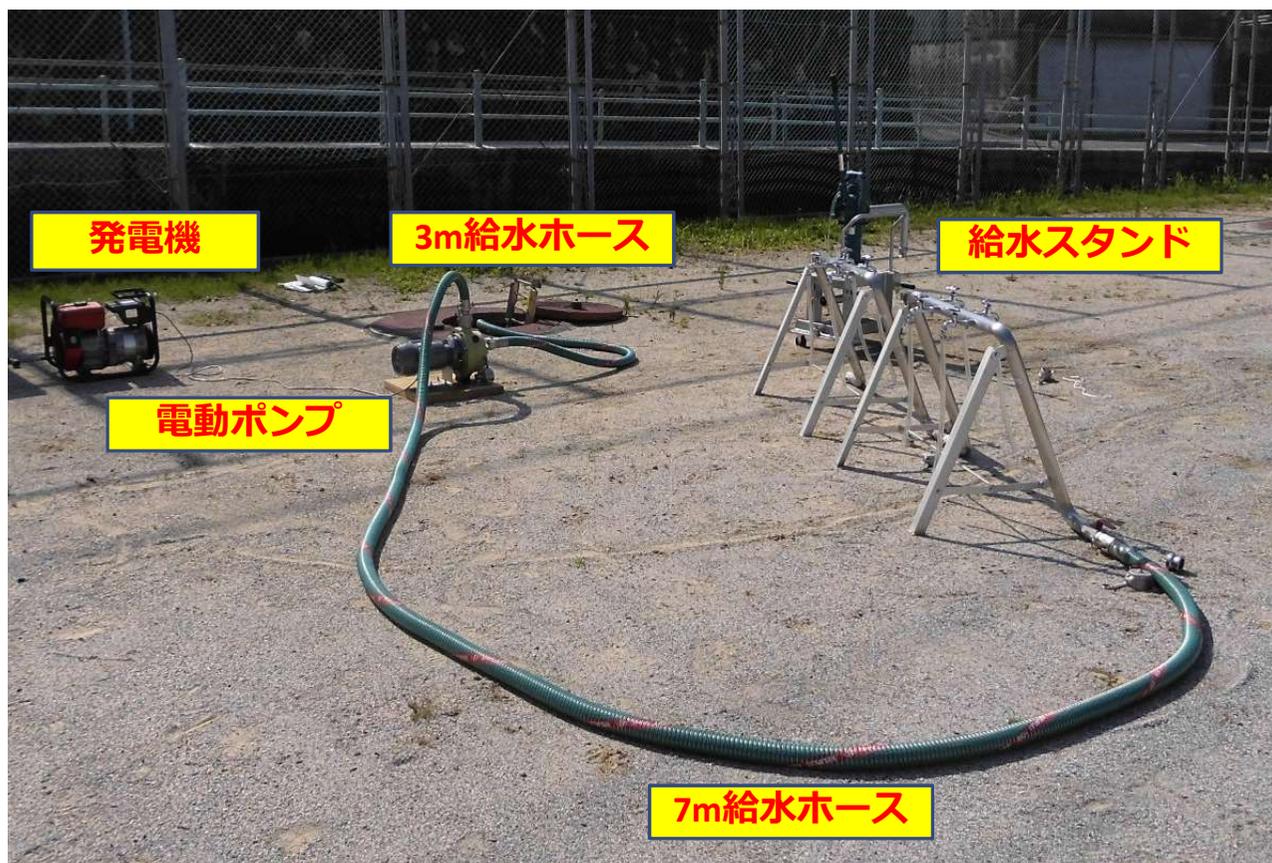


開設手順3 給水器具を組立てる

給水器具を接続し、耐震性非常用貯水槽を開設し、給水を行う。

(発電機の燃料切れ等により、電動ポンプが使用不可となった場合は、手動ポンプによる給水に切り替える。)

電動ポンプを使用した場合の開設状況



開設手順 4 残留塩素濃度の測定

飲料水として供給する前には残留塩素計による残留塩素濃度の測定を行い、飲用に適するかの確認を行う。

残留塩素濃度測定

残留塩素計を使用し、残留塩素が試薬と反応して生じる、桃～桃赤色を標準比色板と比較して測定する。

- 残留塩素 0.1 mg/ℓ以上→飲用可
- 0.1 mg/ℓ未満→飲用不可

